

KARUIZAWA ROTARY CLUB



2023-2024 年 RI テーマ

例会日 毎週月曜日 12時30分～13時30分

例会場 軽井沢プリンスホテル ウエスト

事務局 〒389-0112 軽井沢町中軽井沢9-3 軽井沢町商工会館内

TEL 0267-46-4970 FAX 0267-46-5445

RI 会長 ゴードン R.マッキナリー RI2600 地区ガバナー 折井正明

東信第一グループガバナー補佐 羽毛田匡

会長 小野克永 幹事 佐藤学 クラブ会報委員長 中沢雅子

E-mail k-rotary@jfbn.net ホームページ www.karuizawarotaryclub.com



CREATE HOPE
in the WORLD

第2653例会 2024. 1. 22

12:30 点鐘 会長 小野克永君 司会進行 副幹事 佐藤敏明君
ロータリーソング「我等の生業」 ソングリーダー 干川慎一郎君
ゲスト ミヤザキケンスケ様



《会長あいさつ》 会長 小野克永君

ロータリーはなぜホテルで例会をするのか

「ロータリークラブ」の名称は、会員の職場を巡回しながら例会を開くことに由来します。しかし、いつから巡回するのをやめ、ホテルで開くことになったのでしょうか。

シカゴ・ロータリークラブの第1回の会合は、1905年2月23日、レストランで夕食をとった後、鋳山技師の事務所に4人が集まりました。第2回目は、3月9日7人がポール・ハリス弁護士事務所に集合、第3回目は、3月23日8人が石炭置き場に集まりました。シルベスター・シールが初代会長に選ばれました。また、この会には保険業のチャールス・ニュートンが新入会員として加わりました。その後、洋服店、不動産事務所、印刷所と持ち回りで会を開催しました。

以上6回までは本来のローテーションが機能していました。しかし、第7回目からはホテルに会場を移しました。いずれにしても当時はすべて夜間例会でした。ある時、チャールス・ニュートンが例会に遅れました。遅刻をすれば罰金を払うことになっていたもので、さっそく50セントの罰金を支払うように言われたそうですが、ニュートンは食事に時間がかかったとの理由で支払いを拒否しました。これがきっかけになり、話し合いがなされたようです。最終的には、ニュートンの提案で、レストランで食事を済ませ、各事業所持ち回りで例会をするようになりました。さらにその後レストランで夕食と、例会を一緒にするようになりました。しかし、会員数が増えるに従い、レストランでは賄えなくなり、ホテルへ移動したようです。因みにシカゴ・ロータリークラブの会員数は、1905年末には30人、1907年には87人、1909年には300人と増え、事業所持ち回りやレストランでの開催は事実上不可能になったと思われます。ニュートンは昼例会のアイデアを最初に提案した人として記録されています。これが、例会場をホテルに移した理由です。ホテル開催の話題から外れますが、チャールス・ニュ



ートンは特筆すべき人物だったと思います。ポール・ハリス、マックス・ウォルフと共に最初のクラブ定款を作った人です。また、クラブのルールを厳しく守った人だったそうです。クラブ内の会員相互のトラブルを調停する一方、支払うべきお金は期日までに納めるよう会員に厳しく言ったそうです。また、200人以上いた会員のうちロータリー精神に合わない会員100人を一時に退会させたエピソードも残っています。仕事もやり手で、会員200名のうち180人を保険に加入させたそうです。各種の委員会活動も熱心でしたが、会長就任だけは拒み続け、会員歴18年目に当たる1923年になって、やっと引き受けたそうです。また、カリフォルニアのオークランド・ロータリークラブは、シカゴ、サンフランシスコに続き3番目のクラブとして、1908年に創設されました。会場はオークランドホテルで、昼例会を恒例化しました。歴史上、昼例会の始まりとされています。食事風景は、現在の私たちと全く同じだそうです。つまり、100年以上も昔のまま続いていることになります。

その後、ホテルでの昼例会が普及し、1920（大正9）年創設の東京ロータリークラブも同じ形式が採用され、現在に至っています。



《幹事報告》 幹事 佐藤学君

★通信物=①ハイライトよねやま ②RIより クラブ請求書

③ロータリー米山記念奨学会より・12月寄付傾向・寄付納入明細表（12・31付）

④ロータリー財団寄付明細表（12・31付）

⑤ガバナーエレクト白鳥敬日瑚様より クラブ諸資料ご提出のお願い

★クラブ会報=佐久RC



《ロータリー情報広報聴雑誌委員会》 委員長 福井英子君

ロータリーの友1月号からひとつ興味深い記事を紹介したいと思います。

新潟新発田RC元会員の山本善政さん、この方は1972年に新型のオーディオと言う様なものを販売する会社を作られた。当時はそう言ったカッコいいものを売っていくというのが凄く受けたらしいんですが、それが段々売り上げが減ってきてしまって、1992年には半分の売り上げになってしまったと。どうしようという事で色々考えた結果、四つのテストをもう一回会社に合せて考えてみようという事で、色々考え直したという事を書かれてました。

- ① 真実かどうか、何が真実か何が間違っているのかというのを社内で徹底的に分析をした。
- ② みんなに公平か、公平とは何かと言うのを考えたところ、決して同じ給料を同じように出すって言うことではなく、コスト効率のいいひとの給料を上げていく
- ③ 好意と友情深めるか、お客様と社員みたいなところで良好な関係性をどうしたら築いていけるのかということ考えた
- ④ みんなの為になるかどうか、皆って言うのは何かって考えた時、先ず社会全体であろうと、お客様、社員、スタッフということで、まず社会のために何が出来るかという事でリユース事業に変えたところ、もう一回売り上げが復活した

と言う話しで、四つのテスト、歌にもありますけれどこれが社会、人生に指針になったと、改めて肝に銘じました。

《出席委員会》 委員長 小崎陽一郎君

	会員数	本日出席	メイク	合計	出席率	訂正出席率
1月22日	36	26	0	27	72.22%	75.00%

事前メイク1



ニコニコBOX報告

遠藤孝君



★卓話者歓迎…佐藤学君、遠藤孝君、大工原巧君、佐藤敏明君
千川慎一郎君、柳沢洋一君、小林俊二君、金山城太郎君、小崎陽一郎君、袖山卓也君
佐藤好雄君、中沢雅子君、佐藤一郎君、今井亮君、福井英子君、秋山貴史君、大雲芳樹君
横山繫君、上田直人君、西川眞司君、尾沼好博君、丸山哲君

《卓話者ご紹介》プログラム委員長 上田直人君

ミヤザキ ケンスケ様 画家、壁画画家



1月22日
¥21,000

筑波大学修士課程芸術研究科卒業後、ロンドンへ渡りアート制作を開始。
Super Happy をテーマに、見た瞬間に幸せになれる作品を制作している。
現在世界中で壁画を残す活動「Over the wall」を主宰し、2015年ケニアの
スラム街、2016年東ティモールの国立病院、2017年ウクライナでのUNCRと
の共同制作、2018年エクアドルの女性刑務所、2019年ハイチでの国境なき
医師団との共同制作、2022年パキスタンの小児科病院、2023年ケニアの障害
を持つ子供達との共同制作など、現地の人々と一緒に壁画を残す活動をしてい
る。

《卓話》

ミヤザキケンスケ様

— 世界に壁画を残す Over the Wall の活動を —



《四つのテスト斉唱》

点鐘